

予 算 要 求 資 料

令和5年度5月補正予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名【新】原木輸送用燃料高騰対策支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

政部 森林経営課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内4388)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,135 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,135	0	0	0	0	0	0	0	3,135
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

原木は主に、市売りのほか、流通事業者と加工事業者の間で事前に決められた量・価格で取引されており、素材生産事業者が自ら価格を決めることは難しい。このため、エネルギー価格の高騰分を原木価格に転嫁することができない。

また、あらゆる物価が上昇する中であっても、原木価格は値下がりしており、燃料価格の上昇分を経営努力では吸収できなくなっており、素材生産事業者の経営に影響を及ぼしている。

素材生産事業者の事業継続性を確保し、将来に渡って木材を安定的に供給し続けるため、素材生産事業者の負担軽減を図る必要がある。

(2) 事業内容

素材生産事業者が自社で行う原木の運搬に使用する燃料を購入する経費の価格高騰相当分を助成する。

○補助対象者

県内の拠点を置く素材生産事業者のうち、「育成を図る林業経営体」に選定されているもの

○補助額

軽油の使用量に応じて助成する。

補助単価：令和4年12月から令和5年2月までの3か月平均単価から
令和3年度平均単価を差し引いた高騰分。

(3) 県負担・補助率の考え方

定額

原木は素材生産事業者が自ら価格を決めることが難しく、物価が高騰する中であっても原木価格は下落している。一方、燃料価格は依然として高値で推移しており、素材生産事業者の経営に影響を及ぼしている。素材生産事業者の事業継続性を確保し、将来に渡って木材を安定的に供給し続けるため、素材生産事業者の負担軽減が必要であり、10/10の補助は妥当である。

(4) 類似事業の有無

貨物自動車運送事業者燃料高騰支援事業

貨物自動車運送事業者に対する燃料高騰分の一部助成

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,135	
合計	3,135	

決定額の考え方

燃油は、国の燃料油価格激変緩和事業により価格上昇が抑えられていることから計上を見送ります。

4 参考事項**(1) 各種計画での位置づけ**

木材生産量の拡大は、第4期岐阜県森林づくり基本計画（R4～R8）における「DXの推進による林業・木材産業改革」に位置づけられている。

(2) 国・他県の状況

愛知県：林業・木材産業用燃油価格高騰対策支援金

(3) 事業主体及びその妥当性

県：県内全域に所在する事業者への補助であることから県主体が妥当

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	原木輸送用燃料高騰対策支援事業費補助金
補助事業者（団体）	県内に拠点を置く素材生産事業者のうち、「育成を図る林業経営体」に選定されている者 （理由） 物価高騰の影響を受けている県内の素材生産事業者を支援し、経費負担の軽減を図ることにより事業継続性を確保するとともに、県産材の安定供給を図る。
補助事業の概要	（目的） 物価高騰の影響を受けている県内の素材生産事業者を支援することにより、事業継続性を確保するとともに、県産材の安定供給を図る。 （内容） 物価高騰にかかる軽油の価格高騰分にかかる相当額を補助する。
補助率・補助単価等	定額 （内容） 補助単価×使用量 （内容） 物価高騰にかかる軽油の価格高騰分にかかる相当額を補助する。
補助効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内素材生産事業者の事業継続性の確保 ・ 県産材の安定供給
終期の設定	終期：令和5年度 （理由） 価格高騰に伴う緊急対策であるため。

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 素材生産事業者の事業継続性の確保による経営安定化
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	終期目標	達成率
	(R2)	実績	目標	目標	(R8)	
①木材生産量	576千m ³	576千m ³	600千m ³	612千m ³	650千m ³	89%

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	事業実施なし
令和3年度	事業実施なし
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	燃料価格の高騰が素材生産事業者の経営に影響を及ぼしているため、負担を軽減するための取組が必要
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 物価高騰の状況が長期化するようであれば、支援継続等検討する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 物価高騰の状況が長期化するようであれば、事業内容の改善等の見直しを行い、事業者支援を実施する。
--